

オフィス・インフォメーション

新年おめでとうございます

年頭にあたり、皆様のご健康とご多幸を祈念しますと共に、今年も本学図書館の諸機能から多くの学術情報を収集され、勉強や研究に大きな成果を挙げられますことをお祈り申し上げます。

2004年(平成16年)元旦



京都外国語大学附属図書館
京都外国語短期大学附属図書館

「データベース・ノーベル文学賞」を公開
本学図書館は、昨年のノーベル文学賞の受賞者がJ.M.クツェー氏に決定し、この賞が創設された1901年以降の受賞決定者が100人に達したことを祝って、「データベース・ノーベル文学賞」を作り、ホームページで公開しました。(5, 7ページに関連記事)



このデータベースには、受賞者ごとに和書と洋書の検索項目を示したアイコンが付けられており、それをマウスでクリックすることで容易に検索できます。また、全ての受賞者には受賞年の他に、国籍や生没年、さらには簡単な人と作品の紹介文が付けられ、和書と洋書を併せ約3,400冊の収録図書が調べられます。

本学図書館では、このデータベースを使ってノーベル文学賞の受賞作品を検索していただき、多くの優れた世界文学に精通してもらいたいと思っています。

なお、我が国の図書館界に同種のデータベースが見られないことから、昨年12月10日(水)の公開日には京都新聞や読売新聞で紹介されました。

学園祭協賛行事「図書館フォーラム」を開催

本学図書館は昨年の11月1日(土)の午後2時から、学園祭協賛行事「図書館フォーラム」を開催しました。この行事は今年で通算4回目となるもので、今回は「私の見た図書館」と題して、これまで図書館でアルバイトをしていた学生の皆さんに本学図書館の特徴を語り合っていただくかたちで行われました。(9~11ページに関連記事)



会場となった第2閲覧室には、当日前夜祭が行われるにもかかわらず、学生の皆さんや教職員の方々がつめかけ、9人の方々の発表と話し合いを通じて、在学中にどのように図書館を使えば効果があがるのかを聞き入っていました。

特別休日開館について

本学図書館は特別開館として、昨年末は12月27日(土)まで開館し、年始は1月5日(月)から開館しました。また、今後は定期試験前の1月18日(日)と1月25日(日)、さらには試験中の2月1日(日)に開館する予定になっています。

特に、定期試験に関わる開館については、多くの学生の皆さんに図書館を使っていただき、試験で大いに効果を上げていただきたいと思います。